

留 学 報 告 書

記入日:2013年9月29日



所属学部／研究科・学科／専攻	文学部 史学地理学科 西洋史専攻
留学先国	台湾(中華民国)
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	国立台湾大学 國立臺灣大學
留学期間	2012年9月～2013年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	文学院 歴史系 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2013年7月23日
明治大学卒業予定年	2015年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬,2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1928年

留学費用項目	現地通貨(台湾ドル)	円	備考
授業料		円	協定校留学だったため授業料は明治大学にのみ納めました。
宿舍費	7100元×10ヶ月	213,000円	
食費	83,000元	250,000円	
図書費	4,370元	13,110円	主に教科書
学用品費	120元	360円	
教養娯楽費	60,000元	180,000円	
被服費	330元	1,000円	衣服は基本的に日本から持って行ったもの又は送ってもらったものを着ていてほとんど買わなかったため
医療費	0	0円	
保険費	0	0円	
渡航旅費	47,510元	142,530円	往復のチケット＋一時帰国の際の往復チケット
雑費	10,000元	30,000円	
その他		円	
合計	277,000元	830,000円	

渡航関連

渡航経路: 東京(成田)→台北(桃園)	
渡航費用	
チケットの種類	オープンチケット
往路	_____
復路	_____
合計	105,240 円(オープンチケットだったので往復の合計金額です)
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
オープンチケットを購入したいと思っていたのですが購入の仕方が分からなかったため、近くの JTB に行って購入しました。	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
大学の宿舎	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室	OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)
3)住居を探した方法:	
大学から事前に希望する宿舎と部屋の形態を第 3 希望まで選んで出すようにオンライン上で連絡がきました。	
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
宿舎はとても快適でした。私は一人部屋でしたがシャワーとトイレも付いていましたし、天井も高いので圧迫感もありません。強いて言えば壁は少し薄いようでしたが普通に生活している分にはお互いの生活音はそんなに聞こえてきません。	

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった	<input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
留学中にそんなに大きな問題は発生した覚えがないので分かりませんが、ちょっと分からないことがあった時には私の場合は友達に聞いて解決することが多かったかと思えます。ですが台湾大学には OIA という留学生のための相談窓口がありますので、留学生活に関して何か質問や問題があった際には OIA を利用するのも良いのではないかと思います。	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
行った当初はちょうど中国において日本に対するデモ等が頻繁に起こっていた時期だったのですが、有り難いことに台湾でそういったデモ等を見かけたことは一度もありませんでした。基本的にはとても安全なところなのでこれといった防犯対策も特にしませんでした。犯罪に巻き込まれたことも一切ありません。	
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
宿舎のネット環境は良かったので最初にパソコンが繋げるようになってからは困ったことはほとんどありませんでした。また台湾は日本よりも WIFI が飛んでいる場所がたくさんあるので、ネット環境について不便だと感じることはありません。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
渡航前にシティバンクの口座を開設しておいたので、現地ではシティバンクのカードでお金を引き出すことが出来るコンビニなどの ATM から資金を調達していました。友達の中には現地で銀行口座を開設した人もいます。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
台湾では大抵のものは調達することが出来るので特に心配する必要はありません。もし普段使っているものの中でどうしてもこれ以外のものではダメというのがあれば持って行った方が良いでしょう。	

進路について

1) 進路 <input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) 私は一年卒業を延期するつもりなので現時点ではまだほとんど就職活動を開始していません。留学前のオリエンテーションでも就職キャリア支援事務室の方からお話があるかと思いますが、もし私のように卒業を一年遅らせるのであれば帰って来てからそちらにこれからの進路について相談に伺えばまだまだ出遅れているということはないので、あまり心配し過ぎなくても良いと思います。少なくとも就職活動のために留学を断念するというのは本当に勿体無さ過ぎて私には考えられません。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
19 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
台湾史上	台湾史上
科目設置学部・研究科	文学院 歴史系
履修期間	前期(9月~1月)
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	先生の講義が中心で、学生はレジュメに目を通しつつ板書を写すといった感じです。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	周婉窈
授業内容	台湾の歴史について原住民の時代から順々に学んでいく授業です。レジュメ以外にも先生が毎週講義に関連する史料をアップロードしてくれるので、たくさんの貴重な史料を閲覧することが出来ます。
試験・課題など	中間試験、レポート、期末試験
感想を自由記入	歴史学科に所属していたので元から歴史系の科目を受講したいと考えていて、中でもせっかく台湾に来ているので台湾の歴史についてはぜひ知っておきたいと思ったので受講しました。初めの内は先生の講義がほとんど聞き取れていなかったのが今となってはよく諦めずに取っていたなと思いますが、一生懸命課題やテストに取り組みれば先生はちゃんと評価して下さいます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
現代中国と世界 1842-1911		現代中国と世界 1842年-1911年	
科目設置学部・研究科	文学院 歴史系		
履修期間	前期(9月～1月)		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	大きな教室にも関わらず相当な人数が受講しているため立ち見の学生もいる程でした。始まってから100分間は先生の講義が中心で、最後の50分間はビデオを鑑賞したり、小グループに分かれて課題についての討論を行ったりします。(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	王遠義		
授業内容	アヘン戦争頃からの中国の近代史を中国の観点からのみ考察するのではなく、欧米や日本など世界の様々な国との関わりについても見ていながら広い視野で近代の世界について学ぶことが出来ます。		
試験・課題など	期末レポート、期末試験		
感想を自由記入	とにかく人が多かったので席を確保するのが大変だった記憶があります。期末レポートや試験の前は上手く乗り切れるかどうか不安もありましたが、助教授の方が親切にどのように勉強したら良いかやアドバイスを下さったり、授業の内容に関連した日本語文献も紹介して下さいだったので、無事にパスすることが出来ました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
国際生華語初級三		留学生のための中国語の授業(初級三)	
科目設置学部・研究科	語言中心		
履修期間	前期(9月～1月)		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	初回の授業の約一週間前にクラス分けテストがあるのでその結果によってクラスが振り分けられます。始めの一週間以内であればクラスの変更も可能です。私のクラスは人数は大体15人くらいで教科書に沿って授業を進めつつも先生が様々なゲームを準備してくるので、楽しく中国語を学ぶことが出来ました。(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が6回		
担当教授	李安怡		
授業内容			
試験・課題など	各単元の終わりに小テストを実施、中間試験、期末試験 またリスニングの試験などは授業中に随時行われる		
感想を自由記入	クラス内には欧米や東南アジアなど様々な国から来た留学生がいるのですが、授業での会話練習などを通じて仲良くなれるので、とても充実していました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
台湾史下		台湾史下	
科目設置学部・研究科	文学院 歴史系		
履修期間	後期(2月～6月)		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	前期と同じで先生の講義が中心で、学生は板書や先生の話した内容をメモします。映像資料を観る機会も多かったです。(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	周婉竊		
授業内容	1895年に日本が台湾を植民地にして以降の台湾の歴史を学びます。日本の統治政策から霧社事件、戦中から戦後の二二八事件、白色テロに至るまでの台湾の激動の歴史を辿ります。先生は本当にたくさんの史料を準備して下さいるので台湾の近現代史をより深く理解するのに非常に役立ちました。		
試験・課題など	中間試験、レポート、期末試験		
感想を自由記入	前期よりも大分聞き取れるようになったので講義がとても面白く感じられるようになりました。後期の内容は日本人である私たちにとっても関わりの深い部分なので、台湾についての認識を深めると同時に日本との関わり合いについても学ぶことができるので、受講して本当に良かったと思っています。		

履修した授業科目名(大学言語):		履修留学先した授業科目名(日本語):	
當代中國政治與經濟發展		現代中国の政治と経済発展	
科目設置学部・研究科	社会科学院		
履修期間	後期(2月～6月)		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	パワーポイントを使用し、先生がそれに説明を付け加えていきます。講義で使用したパワーポイントは毎週先生がアップロードしてくれるため、テスト前などはそれを見ながら集中して復習することができます。(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	周嘉辰		
授業内容	現在の中国の政治がどのような組織の下に運営されているのか、また中国の企業の形態にはどのようなものがあるのか、各地方での経済発展の仕方はいかなる特徴があるのか…などについて学べる講義です。		
試験・課題など	中間試験、期末試験		
感想を自由記入	私が印象に残っているのは中国の農村社会の現状についてお話して頂いた回です。その実態からまだ表には出ていないけれども華々しい経済発展を続けている中国が抱える問題や今後の課題などについて知ることができました。テストでは先生は努力を評価して下さいます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
国際関係二		国際関係二	
科目設置学部・研究科	政治學科		
履修期間	後期(2月～6月)		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	先生の講義中心、パワーポイントを使用してくれますがスピードが速いのでほとんど見ている暇がありません(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	張亞中		
授業内容	国際関係という名の講義ですが基本的には国際経済についての講義です。		
試験・課題など	中間試験、期末試験 各試験の前に一度小テストも行われる		
感想を自由記入	講義、テストともになかなかレベルが高いです。教科書の膨大な量のページがテスト範囲に指定されるためテスト前は本当に大変でしたが、振り返ってみるとこのテスト勉強が中国語で書かれた文献を読むスピードをアップさせるのに役立ったようにも思われるので、どこで何が役立つかは分からないものだと、取ってみて良かったと思っています。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
日治時期台湾政治史		日本統治期の台湾政治史	
科目設置学部・研究科	文学院 歴史系		
履修期間	後期(2月～6月)		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	比較的小さな教室で講義は行われます。先生は中身の濃いレジュメや史料を用意してくれます。(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	陳翠蓮		
授業内容	日本統治期における台湾政治史の講義です。当時の台湾の社会情勢や台湾政治に様々な局面で関わった日本人についても知ることができます。		
試験・課題など	中間レポート、期末試験		
感想を自由記入	講義では時に目からうろこが落ちるような、今まであまり知らなかった日本統治期の台湾の実態、特に台湾総督などの有名な日本人だけでなく、こんなところでこのような人物も存在したのかといった日本人のことも知ることができたので非常に興味深かったです。中間レポートでは中国語では人生最長となる五千字を書き上げました。辛かったです先生から相応の評価を頂けたのでとても嬉しかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
国際生華語中級二		留学生のための中国語(中級二)	
科目設置学部・研究科	語言中心		
履修期間	後期(2月～6月)		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	私のクラスは大体 10 人ちょっとくらいでした。欧米人から韓国人、モンゴル人…などやはり様々な国からの留学生とともに中国語を学びます。(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 6 回		
担当教授	徐微喬		
授業内容	基本的には教科書の単語をまなび、文法を学び、リスニングをし…といった感じで進められます。会話練習の機会もあります。		
試験・課題など	各単元の終わりに小テストを実施、授業中にはリスニングの小テストも 中間試験、期末試験 中間試験・期末試験はそれぞれ筆記試験と口答試験(発表)の両方が課せられる		
感想を自由記入	教科書を中心に学びますが休み時間には先生がお薦めの中国語の歌やテレビ番組などを紹介してくれることもあって、台湾の文化にも触れられます。同時に学生たちからは中国語での会話を通して各国の文化などについて教えてもらえるので、留学生にとって一番基本となる講義ではありましたが毎回出て損することは全くなかったと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
臺灣歴史與文化		台湾の歴史と文化	
科目設置学部・研究科	文学院 歴史系		
履修期間	前期(9月～1月)		
単位数			
本学での単位認定状況	聴講のため単位認定なし単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	パワーポイントを使いながら先生が説明していきます。約 70 人程の学生が受講しており、後半は学生によるグループ発表が中心となりました。(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回		
担当教授	呂紹理		
授業内容	台湾の歴史を遥か昔から近代に至るまで概観していきます。その中で農業形態やその推移など台湾の人々の身近な生活について学べるだけでなく、近代史の部分では近代国家とはどのような性質のものであったかなどの歴史学的内容についても学ぶことができます。学生の発表もテーマ設定から質疑応答に至るまで工夫が施されていて興味深かったです。		
試験・課題など	私は聴講だったため試験や課題は課せられませんが、受講している学生達は期末試験と授業中にグループ発表を行っていました。		
感想を自由記入	台湾の社会の様子について詳しく知ることができるのでとても興味深いです。特に近代史の部分は歴史学科の他の講義の内容と補完されることでより理解が深まったように思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
日治時期臺灣原住民之文化政治	日本統治期における台湾原住民の文化政治
科目設置学部・研究科	
履修期間	前期(9月～1月)
単位数	
本学での単位認定状況	聴講のため単位認定なし単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	比較的小さな教室で少人数で行われました。日本人の先生による講義なので講義は全て日本語です。(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	松田京子
授業内容	あまり知られていない原住民のこれまでの歩みについて知ることができるだけでなく、私たち日本人が知っておかなければならない日本の台湾統治政策や社会的背景を基にしたその統治理念などについても知ることができる講義です。
試験・課題など	中間試験と期末試験
感想を自由記入	始めの頃中国語で行われる他の講義がなかなか聞き取れない中で、この講義は日本語で行われたため自分がしっかり学べていることを実感できました。原住民の歴史や文化については台湾全体の歴史についてよりもっと知らない部分が多いと思いますが、日本との関わりも実はとても深いのだということが分かり、本当に興味深かったです。現在先生は日本の大学に戻られているそうなのでこれから留学に行く方は受講できないかと思います…お薦めの講義なので残念です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
日本文化史	日本文化史
科目設置学部・研究科	
履修期間	前期(9月～1月)
単位数	
本学での単位認定状況	聴講のため単位認定なし単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	比較的大きな教室で行われます。基本的にはパワーポイントを活用しながら講義が進められ、時折板書もするといった感じです。(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	
授業内容	古代からの日本の文化について学ぶ講義です。先生が過去に日本で研究をしていたということもあり、講義ではパワーポイントを使ってたくさんの日本の写真が紹介されるなど、日本により関心を持てるような講義になっています。
試験・課題など	試験と、一部の学生は発表も行っていました
感想を自由記入	台湾人の先生による講義で日本の文化について学ぶというのも何か新しい発見がありそうで面白そうだと思います、聴講することを決めました。実際に受けてみて「そういうところが台湾人にとっては不思議なのか、或いは興味深いのか」といったことを知ることができたので、日本独特の文化についても一度見つめ直すきっかけになるとと思います。また黒澤明の映画やもののけ姫など、映像作品を鑑賞する機会も多いのでとても楽しいです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
日本近代歴史人物	日本近代歴史人物
科目設置学部・研究科	
履修期間	後期(2月~6月)
単位数	
本学での単位認定状況	聴講のため単位認定なし単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	大教室ですがその教室がほぼ満席になるほど受講者がいます。先生が工夫の凝らされたスライドを基に講義を進めていきます。また先生は日本で研究していた経験があるため時折日本語の単語も織り交ぜて話します。(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	
授業内容	近代日本において重要な役割を果たした人物を2・3回完結で順々に紹介していきます。日本において活躍した人物はもちろんのこと、後藤新平や八田與一など台湾において大きな功績を上げた人物についても詳細に説明していきます。
試験・課題など	中間試験と期末試験
感想を自由記入	どの人物についてもこれまで知らなかったような新しい知識が得られるのでとてもお薦めです。休み時間には80~90年代くらいの先生お気に入りのJ-popを流してくれたり、日本の最近の話題についての小話も聞くことができます(今年の伊勢神宮の式年遷宮についても私はこの講義を通じて知りました!)。日本についての話を中国語の説明で聞く訳なので、日本人にとっては中国語の語彙力を増やすのにも役立つ講義ではないかと思います。

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	1月中旬に協定校留学の面接を受ける→下旬に結果発表 3月、出願手続き 国立台湾大学に指定の書類等を提出
4月～7月	6月にHSK(4級)を受ける 7月初旬、渡航前オリエンテーションに参加 学部の先生と事務室の方と面談 7月末、海外旅行保険申し込み ビザの取得や台湾大学に書類を提出する際に必要だったため健康診断を受診
8月～9月	8月、ビザの手配(台北駐日経済文化代表処にて) シティバンクにて口座開設 8月中旬、初めの一月分の宿舍費を郵便局にて支払う 8月末、オンライン上で履修登録 9月3日、台湾に出発! 初めの一週間はオリエンテーションやキャンパスツアー、居留証の登録手続など
10月～12月	10月言語交換開始、サークルに参加(ヨガ) 11月 中間テスト 10月～12月は平日は様々な友達とご飯を一緒に食べに行ったり、週末には少し遠出して みたりと少しずつ慣れてきたので充実した日々
2013年 1月～3月	1月中旬、期末試験を終えた後、約二週間ほど日本に一時帰国 2月上旬 台南に行くなど旅行を楽しむ 中旬 後期スタート
4月～7月	
8月～9月	9月初旬、台湾で知り合った日本人の友達とこれから日本での留学生活を開始する台湾の 友達と関西に旅行へ 中旬、学部の先生と事務室の方と面談、単位認定の申請、後期の授業の履修登録